

令和 7 年度 第3回 さくら市総合計画審議会 議事録要旨

日 時 令和 7 年 9 月 29 日（月） 14:00～15:35

場 所 市役所第 2 庁舎 2 階 第 1 ・ 2 会議室

出 席 者 【審議会】

三橋会長、加藤委員、笹沼委員、笠井委員、谷口委員、山本委員、池田委員、塚本委員、嶋村委員、荒井委員、磯委員、中山委員、武藤委員、二宮委員、渡邊委員（代理）、角田委員、若見委員

【事務局】

中村市長、関総合政策部長、渡辺参事、池田総合政策課長、高柳政策推進室長、永井プロジェクト推進係長、大橋主査、田代主査

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1)第 3 次さくら市総合計画前期基本計画（案）
 - (2)その他
- 4 その他
- 5 閉会

1 開会

2 あいさつ

- ・中村市長あいさつ

3 議事

(1)第3次さくら市総合計画前期基本計画（案）

〈資料に基づき説明〉

委 員：No.36 の意見、その通りだと思う。もう一工夫必要と感じた。

事務局：担当の学校教育課も認識をしている部分。事務局としては、不登校対策の推進などに名称を変えることも提案した。改めて学校教育課と協議する。

委 員：不登校の子は豊かな心を持っていない、という風にも捉えられる。もう少し言葉を選んだ方がよいと思われる。また、不登校出現率という言葉はよく使用されるのか。

事務局：文部科学省の使用する文言。

委 員：学校で「学校生活が楽しいか」「自分に自信を持って生活しているか」などのようなアンケートをとっている。県との比較は可能ではないだろうか。また、地域ボランティアの介入率や行事数など、地域との連携を数値化できるものに焦点を当てれば豊かな心と乖離しないのでは。

委 員：もうひとつ指標を作って違和感を和らげる方向でもよいかと思う。

委 員：同性カップルに対する支援についてはどこに記載されるのか。

事務局：現在は具体的な事務事業はない。今後取組がなされた時には6-3に記載されると思われる。

委 員：議会によくあるテーマとして、引きこもりがある。この対応はどこに含まれるか。

事務局：アプローチ方法でどこに含まれるかが変わる。把握の場合 2-1。支援の場合は他の施策に記載される。今回は 2-1 に含まれる。

委 員：現実は見守りのレベルを超えている。具体的な事業として入れられないものか。

事務局：検討する。

委 員：引きこもり家庭は情報を外に出したくないと思っている。把握は難しい。そういった人の支援方法についても考えてほしい。

(2)その他

- ・特になし

4 その他

- ・特になし

5 閉会